



くららフェスタの参加希望を募集します

令和5年3月12日（日）に「くららフェスタ」の開催を検討しています。（時間は未定）
コロナ禍のため、開催の規模や内容に配慮しつつ、まずは登録者のみなさんから参加希望を
募りたいと思います。

そのため、令和4年12月20日（火）までを目安に、どのような内容や方法で参加をしたい
か、みなさんの声を寄せていただけたら幸いです。（来館・電話・FAX・メール等）

（例）〇〇の展示をしたい…！△△の体験ブースを設けたい…！□□のパフォーマンスをやっ
てみたい…！などなど。

市民活動推進講座 持続可能な地域をどうつくるか～多様性を考えよう～

第1回 外国ルーツのこどもの支援

外国ルーツのこどもの現状ととりまく社会の状況、地域の果たすべき役割などを学びます。

講師 栗又由利子さん（株式会社きぼう国際外語学院）

小山市出身。大学卒業後、東京都内の日本語学校で専任講師として7年半勤
務。双子の出産を機に小山市に戻る。外国人児童生徒指導員として3年間小
小学校で外国人児童生徒に関わり、2009年より現職。2021年にTABUWATA
（多文化共生に興味あるんです、私）を設立。県内を中心に、外国人住民
も、日本人住民もお互いを〇〇さんと呼べる関係づくりを目指して活動中。



- 日時：12月22日（木）19：30～21：00 ○場所：キョクトウとちぎ蔵の街楽習館 大交流室
- 対象：教育・福祉関係の方、NPO・企業・行政の方、関心のある市民の方
- 参加無料 ○要申込み（電話・FAX・メールまたはくららホームページより）



くららのSNS

市民活動推進事業「とちぎ夢フェアレ」募集

詳しくは、4面をご覧ください。



Facebook



Twitter



Instagram



助成金情報



とちぎコミュニティ基金

子ども SUNSUN プロジェクト

「貧困や孤立状態にいる子どもたち」を救うために、とちぎコミュニティ基金を中心に栃木県内の様々な団体や企業・個人が集まってスタートしたのが「子ども SUNSUN プロジェクト」です。イベント開催などを中心に寄付をあつめ、支援の体制づくりや支援活動を行う団体などを募集し助成しています。

対象事業：子どもの生活と子育てを支援するための活動、生活困難者（児）を支援するための活動など

助成額：5万円／10万円／20万円（総額 150万円）

対象期間：令和5年4月1日～令和6年3月31日

応募締切：令和4年12月25日（日）

問合せ：とちぎコミュニティ基金 TEL 028-622-0021 FAX 028-623-6036



とちぎコミュニティ基金

みんなで作る持続可能な地域づくり・SDGs 助成

持続可能な地域社会を作るために、複数の主体が参加して協働する地域課題解決の調査や実施に助成します。

対象事業：3～5団体以上の協働による持続可能な地域社会づくり活動（調査、人材育成）

対象団体：栃木県内で対象事業を行うボランティアグループ、NPO、社会福祉施設、学校、住民組織等（営利・非営利、法人格の有無問わず）

助成額：10～15万円（2団体程度）

対象期間：令和5年4月1日～令和6年3月31日

応募締切：令和4年12月25日（日）

問合せ：とちぎコミュニティ基金 TEL 028-622-0021 FAX 028-623-6036



エフピコ環境基金

エフピコ環境基金

環境問題に対してさまざまな角度から活動している団体を助成します。

対象事業：環境保全活動、環境教育・研究、食育や食の安全・フードロスの対策となる活動

対象団体：NPO・NGO、公益法人および法人格を持たない任意団体やグループを含む、非営利団体
教育機関、地方公共団体

助成額：上限 200万円

対象期間：令和5年4月1日～令和6年3月31日

応募締切：令和4年12月19日（月）

問合せ：エフピコ環境基金 メール fp-kankyokikin@fpco-net.co.jp



❄️ 登録団体からのお知らせ・イベント情報 ❄️

西方音楽館友の会

親子のための音楽会

美しい音楽と親子で触れ合うわらべうたで、格別なひと時を過ごしませんか？

日 時：令和5年1月9日（月）11：00～11：45

内 容：様々な楽器が奏でる音楽に耳を澄ませ、わらべうたで遊ぶ会です。

場 所：西方音楽館 木洩れ陽ホール&馬酔木の蔵

参加費：0歳児から2歳児まで500円／3歳児～大人1,000円

申込み：要申込み（新型コロナウイルスが収束するまでは定員10名）

問合せ：西方音楽館 TEL 0282-92-2815 メール info@wmusic.jp



岩舟地域包括支援センター

あったかとちぎ♥みんなのつどい～認知症の方とその家族を支えるために～

認知症の方、認知症が心配な方、介護されている方、など…日々の思いを語り合いながら、認知症について学びませんか？

日 時：令和5年1月12日（木）、1月19日（木）10：00～11：30（9：30～受付）

内 容：認知症サポーター養成講座、座談会、もの忘れ相談、認知症に関するミニ講座

場 所：静和地区公民館 大会議室

参加費：無料

申込み：電話または窓口（申込締切：12月27日）

問合せ：岩舟地域包括支援センター TEL 0282-55-7782



とちぎ生涯現役シニア応援センターぷらっと

わたしのやりたいことプラン～好きなこと、得意なことを社会参加活動に生かそう～

私にできることは何だろう…。そんな気持ちでいる方のために、これまでの経験を振り返り、「自分らしく、無理なくできる」活動を見つけるお手伝いをします。

日 時：令和4年12月20日（火）10：00～12：00（受付：9：30～）

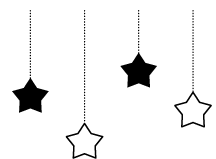
講 師：坂東史重氏（株式会社日本クリエート 代表取締役）

場 所：とちぎ健康の森 1階 大会議室

対 象：概ね50歳以上の方（先着50名）

申込み：HP 申込みフォーム・電話・FAX（申込締切：12月19日17時まで）

問合せ：とちぎ生涯現役シニア応援センターぷらっと TEL 028-623-1291



市民活動推進事業「とちぎ夢フェアレ」募集

この事業は“市民協働まちづくりファンド”を活用し、主体的・公益的な市民活動を応援しています。

応募できる団体	主に市内で活動を行う3人以上の非営利活動団体 (市民活動団体、ボランティアグループ、NPO法人、自治会、PTA、育成会など)
対象となる事業	自らの企画提案によるもので、原則として新たに実施する公益的な事業
補助事業の実施期間	令和5年4月1日(土)～令和6年3月31日(日)
応募受付期間	令和4年12月19日(月)～令和5年1月20日(金)
補助の種類	A.スタートアップ補助上限5万円(8事業程度) B.ステップアップ補助上限10万円(7事業程度) C.ジャンプアップ補助上限30万円(3事業程度) D.まちづくりパワーアップ補助上限50万円
審査方法	・一次審査…書類審査 令和5年2月2日(木) ・二次審査…公開プレゼンテーション 令和5年3月11日(土) キョクトウとちぎ蔵の街楽習館 1階大交流室

問合せ 〒328-8686 栃木市万町9番25号 栃木市役所 地域振興部 地域政策課 地域づくり推進係
TEL 0282-21-2332 FAX 0282-21-2685 E-mail chiiki@city.tochigi.lg.jp

〈事前説明会〉令和4年12月22日(木)19:00～ キョクトウとちぎ蔵の街楽習館4階市民活動室2
補助事業の概要、応募書類の書き方など。参加される方は、事前に上記まで電話にてお申込みください。

夢フェアレはどのように活用できますか?～過去の助成団体から～



ネットワークとちぎ 郷土の研究や資料の整理を行う団体です。6年前からまちの賑わいづくりとして蔵のショーウィンドを使った展示をしています。現在は夢フェアレを活用し「水のまちとちぎ」をテーマに永楽屋での展示を行っています。主にチラシの印刷費や展示に必要な消耗品費、会場使用料に充てています。市民への発信の機会を増やせるよう継続的に活動しています。



八重桜の会 着物を楽しみ、着付けも行う団体です。令和元年から他団体と協力しながら「小江戸とちぎきもの日」を開催しています。申請書類の作成は自分たちの活動をあらためて見直すよい機会となりました。はじめの一步を踏み出したい方にはぴったりです。また、市にバックアップしてもらえるため、市民に広く周知できたり、同じ志を持つ仲間と出迎え、活動の幅を広げることができます。



とちぎ市民活動推進センターくららとは

ボランティア、NPO、社会貢献活動などの市民活動を推進する拠点です。栃木市をよりよくしようと、さまざまな分野で活動している市民の皆さんの意見交換や交流、情報収集・発信の場として活用されています。



開館時間 月～土 10:00～21:00 日・祝 10:00～17:00
休館日 水曜日・年末年始
〒328-0016 栃木県栃木市入舟町6-8 キョクトウとちぎ蔵の街楽習館内
TEL 0282-20-7131 FAX 0282-20-7132
E-mail kurara-tochigi@cc9.ne.jp
ホームページ <http://www.kurara-tochigi.org>



編集後記

※くららは、NPO法人ハイジが栃木市の委託を受けて管理運営しています。

今年もう終わりですね。みなさん、年賀状は書きましたか。年に一回お世話になった人に思いを馳せるいい機会ですよね。最近はスマホでメッセージを送って済ませてしまうことも多くなりました。年の瀬にさまざまな形で日頃の感謝の気持ちを表してみるのもいいかもしれません。来年はうさぎ年です。よいお年をお迎えください。(大塚)